

デロンギ ドリップコーヒーメーカー Mod.CM900J 家庭用

取扱説明書

この度は、デロンギドリップコーヒーメーカー「Mod.CM900J」をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にご使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。



MADE IN CHINA

Mod.CM900Jの特長

- 保温プレートに自己温度制御機能を持つPTCヒーターを採用
PTCヒーターは自己温度制御機能を持つ定温発熱体で、保温プレートの温度をほぼ一定に保ちます。コーヒーは安定して約80℃を保ち、煮詰まりや風味・アロマの損失を抑えます。
- ゴールドフィルターを標準装備
メッシュ部分の表裏を23.8金でコーティングしたスイス・エルフォ社製ゴールドフィルターを標準装備。風味やアロマを引き出す上、紙フィルターと比べて経済的です。
- 自動電源OFF機能付き
コーヒー抽出後約2時間後に、スイッチランプ(青色LED)が消灯し、保温プレートの電源が自動的に切れます。ボイラーの電源は、コーヒー抽出終了後、すぐに切れます。
- 付属計量スプーン用の専用スペース
保温プレートの右手の凹みに、付属品の計量スプーンを置いておくことができます。

目次

安全上の注意	1~3
各部の名称とはたらき	4
内部洗浄	5
ご使用方法	6~7
お手入れについて	8~9
カルキ取りについて(除石灰)	10
故障かなと思ったら	11
仕様	12
CM900Jの構造	12
アフターサービスについて	裏表紙

安全上の注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



高温注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源について



警告

- ・電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。



注意

- ・電源は、家庭用交流100V／50/60Hzをご使用ください。また、使用中にブレーカー（配線遮断器）が落ちる場合は、お近くの電力会社にご相談ください。

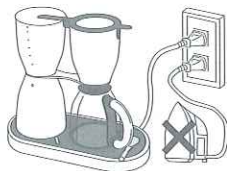


コンセントについて



警告

- ・コンセントは、本製品だけ（単独）でご使用ください。差込口が2つあるものは、片方を空けたままにしてください。



警告

- ・延長コードやタップ、ソケット等は使用しないでください。



- ・差込口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

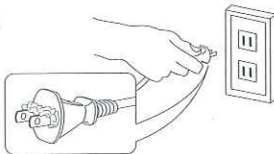


電源コード/プラグについて



警告

- ・プラグに付いたホコリなどは、定期的に取り除いてください。ホコリがたまったら使用すると、火災の原因となります。



警告

- ・破損した電源コード/プラグは、絶対に使用しないでください。そしてお求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に交換を依頼してください。

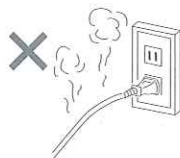


ご使用の前に、必ずお読みください。

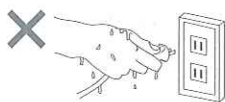
電源コード/プラグについて

警告

- ・使用中に電源コード/プラグが異常に熱くなる場合は、直ちに使用を中止し、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。



- ・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。

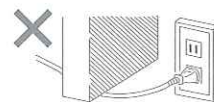


注意

- ・プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。



- ・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。
- ・使用中は、電源コードが熱い表面に触れないようにしてください。
- ・電源コード/プラグは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物をのせたり、傷つけたりしないでください。



使用場所について

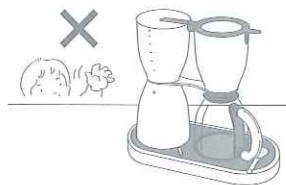
警告

- ・耐熱性のある平らな安定した場所でご使用ください。
- ・水のかかるところや湿気の多い場所、火気の近くでは使用しないでください。
- ・運転中（電源を入れているとき）は、目の届く場所で使用してください。



警告

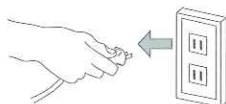
- ・お子様だけで使用したり、小さなお子様の手の届くところで使用しないでください。



使用上の注意点

警告

- ・ご使用前に、本製品が輸送による損傷を受けていないか確認し、異常がある場合は弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。
- ・万一、異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。次に10ページ「故障かな?」を参照してください。それでも異常がある場合は弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。



- ・本製品は家庭用コーヒーメーカーです。屋外や他の用途での使用はおやめください。



警告

- ・電源を入れる前に、必ず水タンクに水を入れ、ふたを取り付けたガラスジャグ（付属品）を保温プレートの中央に乗せてください。
- ・ガラスジャグ（付属品）は必ず取り付けてください。ガラスジャグがないと、コーヒーが上からあふれ出るおそれがあります。



- ・濡れた手で使用しないでください。



安全上の注意 (続き)

使用上の注意点

警告

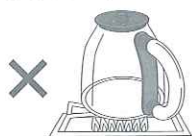
- 電源を入れた後は、コーヒーの抽出終了まで、水タンクふたやフィルターホルダーのふたを開けたり、ガラスジャグを保温プレートから降ろしたり、本体を移動しないでください。



- 本体や電源コードに水をかけたり/浸けたりしないでください。
- 使用後は必ず電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

注意

- ガラスジャグを直火にかけたり、電子レンジに入れないでください。



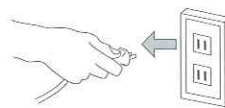
- 使用中および使用後しばらくは保温プレートや本体の金属部分に手を触れないでください。
- フィルターホルダーは持ち手を持って取り出してください。

注意

- 水タンクには新鮮で澄んだ水道水、ミネラルウォーターまたは浄水器を通した水を入れてください。タンクの水量(最小:目盛2~最大:目盛10)は必ずお守りください。
- コーヒー抽出直後のホルダー受け内部(ゴールドフィルターおよびコーヒー粉、フィルターホルダー、ドリップストップ弁)は高温です。冷めるまで触れないでください。



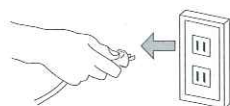
- 使用後は、必ず水タンクを空にしてください。
- ご使用の際は必ず付属のガラスジャグをご使用ください。他のガラスジャグのご使用はおやめください。
- ガラスジャグの中にコーヒーが入っていない状態での空だきはしないでください。
- 本体を移動する場合は、本体が冷めていることとプラグがコンセントから外れていることを確認し、ガラスジャグは外した状態で本体底部をしっかりと持って行なってください。



お手入れについて

注意

- 使用後は必ずお手入れしてください(8ページ参照)。
- お手入れの前に必ず電源を切り、プラグをコンセントから抜き、本体および各部が冷えてから行なってください。



注意

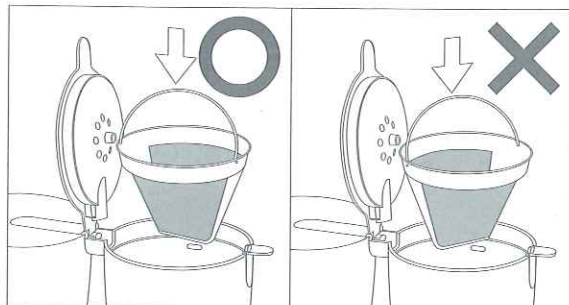
- ご自分で分解したり、修理/改造することは、絶対にお止めください。
- シンナーやベンジン、クレンザー、金たわし等は使用しないでください。
- 本体や電源コードに水をかけたり/浸けたりしないでください。



各部の名称とはたらき

●ゴールドフィルター

メッシュ部両面を23.8金で二重コーティングした
スイス・エルフォ社製のフィルター



ゴールドフィルターは右図の向きでは入りません。

別売品

お求め方法:

販売店もしくは弊社サービスセンター
(裏表紙参照)まで、電話またはFAXで
ご注文ください。

・ガラスジャグ (Mod.CM900J-GS)

価格4,800円

(本体4,571円、税229円、送料別)

●ホルダー部持ち手

●ホルダー部ふた

ホルダー部ふたを開けると
給湯管の連結部が外れ、
抽出(給湯)が止まります。

●水タンクふた

●連結部

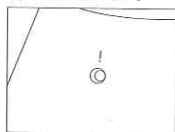
●給湯管

●水タンク

新鮮で澄んだ水道水、ミネラル
ウォーターまたは浄水器を通し
た水を入れます。

●カルキ取りお知らせランプ

90回のご使用ごとに赤く点灯
して、カルキ取りの時期を
知らせます。



※本機能は、お客様が硬水(石灰
分を多く含む水)をご使用にな
ることを想定し、主にヨーロッ
パ向けに備えられたものです。
日本では、一部の地域を除き、
ほとんどの地域で軟水(石灰分
が少ない水)が使用されていま
す。詳細は、10ページ「カルキ
取りの手順」をご参照ください。

●ボイラー

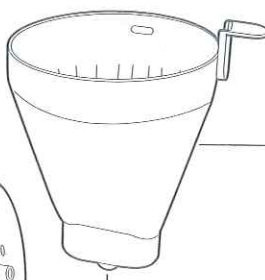
ヒーターにより、
水を沸騰させます。

●電源スイッチ



●スイッチランプ

電源を入ると青色
(LED)に点灯します。



●フィルターホルダー 持ち手

●フィルターホルダー

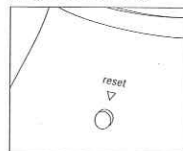
●ドリップストップ弁

ガラスジャグのふたの中央部
が接すると、弁が開きます。

●ホルダー受け

●リセットボタン (本体背面)

カルキ取りのお手入れ後、
このボタンを押して、
カルキ取りお知らせランプを
消灯します。



●保温プレート

PTCヒーター内蔵で電源を
入れている間熱くなります。

●計量スプーン受け

計量スプーンを置く
スペースです。

●ガラスジャグふた

使用時は必ずふたをします。

●ガラスジャグ



●計量スプーン

すり切り……約5g



内部洗浄

最初のご使用前に、必ず行なってください。

はじめに

ガラスジャグとそのふた、フィルターホルダー、ゴールドフィルターは、台所食器用洗剤と柔らかいスポンジで水洗いし、よくすすいで乾かした後、きちんと取り付けておきます。

⚠ 注意

- ・ホルダー受けに、フィルターホルダーをしっかりと取り付け、ゴールドフィルターをセットしてください。
- ・水タンクへの注水量は、必ず目盛10の線以下にしてください。
- ・内部洗浄の際は、コーヒー粉は使用しないでください。

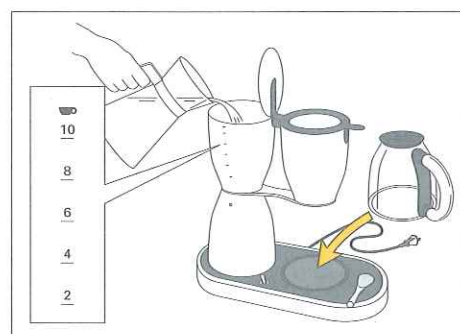


次に、本体内部の配管（給湯管など）を以下の要領で洗浄してください。

①ふたを取り付けたガラスジャグを保温プレートの中央（＝ドリップストップ弁の真下）に乗せます。

②水タンクのふたを開け、水タンクの目盛10の線まで、澄んだ水道水を入れます。そしてしっかりとふたを閉めます。

③プラグを壁面のコンセントに直接差し込み、電源スイッチをONにします。電源が入るとスイッチの周りが青く点灯します。

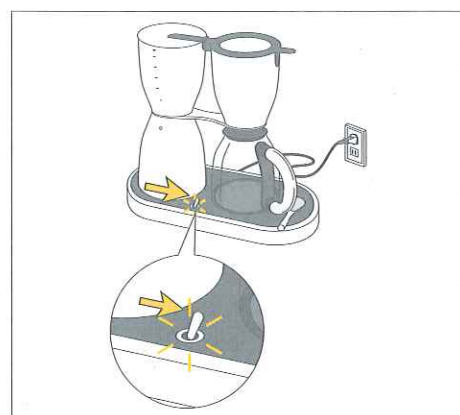


④しばらくすると、ボコボコという沸騰音と共に給湯が始まり、熱湯はドリップストップ弁を通してガラスジャグに流れ込みます。

⚠ ヤケド注意: 運転中は絶対にふたを開けないでください。

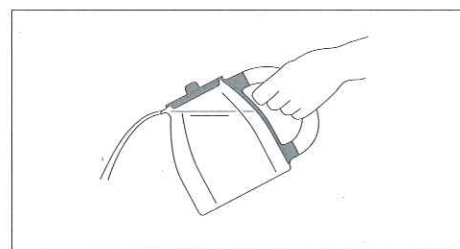
⑤約8～9分後に沸騰音が止まり（＝タンクの水が無くなり）、給湯が終了／停止します。

⚠ ヤケド注意: 終了直後のフィルターホルダー部は、内側と外側ともに高温ですので、ふたを開けたり金属部に触れないでください。



⑥電源スイッチをいったん切ります（電源ランプ消灯）。

⑦ガラスジャグを保温プレートから降ろして中のお湯を捨て、3分ほど休み（＝電源を切った状態）を入れて、もう一度①～⑥を繰り返してください。

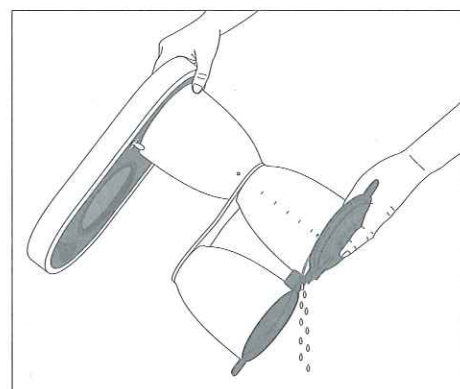


⑧ガラスジャグを保温プレートから降ろし、中のお湯を捨てます。
※続けてコーヒーの抽出を行なう場合には、必ず3分以上の休み（＝電源を切った状態）を入れてください。

※しばらく本製品で使用にならなかった場合は、上記の内部洗浄を1度（①～⑥）だけ行なってください。

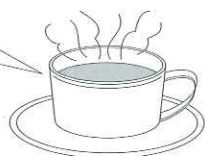
※内部洗浄後、ボイラー内に約100mLの水が残ります。その日のご使用であれば、そのまま水を捨てずにコーヒーの抽出を行なえます。1日のご使用が終わりましたら、本体を逆さまにしてボイラー内の水を必ず捨ててください。水を残したままにしておくと異臭の原因になります。

⚠ 注意: 本体を逆さまにする際は、必ずプラグをコンセントから抜き、ガラスジャグを保温プレートから下ろしてください。



ご使用方法: コーヒーの抽出

1杯分の抽出量は
約95～125cc。



★抽出杯数が少ない方が、1杯分の抽出量も少なくなります。
コーヒー粉の量は目安ですので、
お好みで調節してください。

ご希望の杯数	水 量 (水タンク目盛)	コーヒー粉の量 (計量スプーンの杯数)
2 (最小)	2	3
4	4	5 $\frac{1}{2}$
6	6	8
8	8	10
10 (最大)	10	12

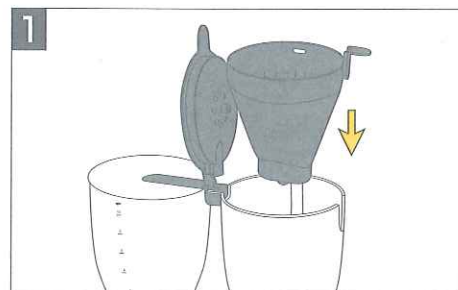
＜コーヒー粉の挽き具合＞

- ・ コーヒーを入れる直前に挽くのが理想的です。
- ・ 細かく挽くと苦味は濃く、味が強くなります。粗めに挽くと苦味は薄く、味が弱くなります。
- ・ 一般的に、深煎りの豆は細かく、浅煎りの豆は粗めに挽きます。

※カップにコーヒーの粉が落ちるのが気になる方は、粗挽きの粉をご使用ください。

1 フィルターホルダーを取り付ける

フィルターホルダーをホルダー受けにしっかりと取り付けます。

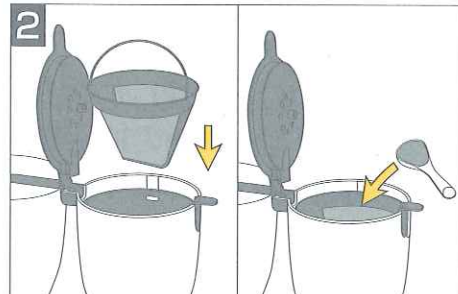


2 ゴールドフィルターをセットし、 コーヒー粉を入れる

フィルターホルダーにゴールドフィルターをセットし、付属の計量スプーンを使って、適量の(※)コーヒー粉を入れます。

コーヒー粉は、新鮮で中～粗挽きのものをご使用ください。

※計量スプーンすり切り1杯は約5gです。上記の表を参照して、
お好みの量を入れてください。

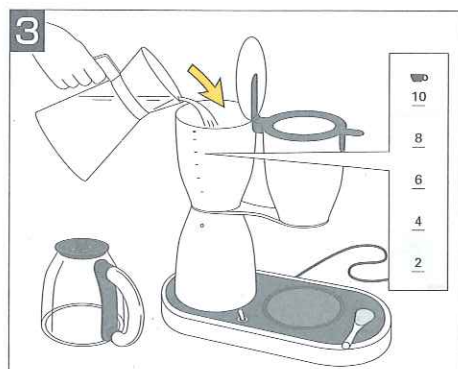


3 水タンクに水を入れる

水量表示の目盛を目安に、ご希望の水量(上記の表参照)をタンクに入れます。その後、ふたをしっかりと閉めます。

※最大水量は、目盛10の線を超えないでください。

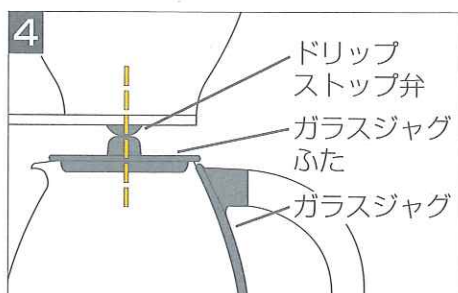
※水は、新鮮で澄んだ水道水またはミネラルウォーターをご
使用ください。お湯や炭酸水などは使用しないでください。



4 ガラスジャグを保温プレートにのせる

空にしたガラスジャグにふたをして、保温プレートの中央(=ドリップストップ弁の真下)にのせます。

⚠ 注意: ガラスジャグは必ずふたをしてください。ふたをしていないと、コーヒーがガラスジャグに抽出されず、上からあふれ出るおそれがあります。



ご使用方法 (続き)

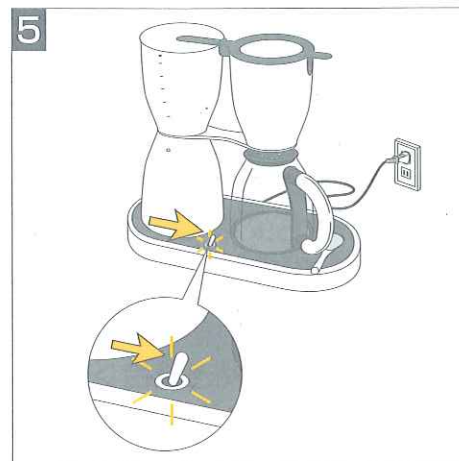
5 電源を入れる

プラグを壁面のコンセントに直接差し込み、電源スイッチを右に動かします。電源が入るとスイッチ周りの電源ランプが青く点灯し、水タンクの水の加熱が始まります。

しばらくすると、ボコボコという沸騰音と共に給湯/コーヒーの抽出が始まります。抽出されたコーヒーは、ドリップストップ弁を通り、ガラスジャグに流れ込みます。

⚠ 高温注意

コーヒー抽出中は、ふたを開けたり、ガラスジャグを動かしたりしないでください。



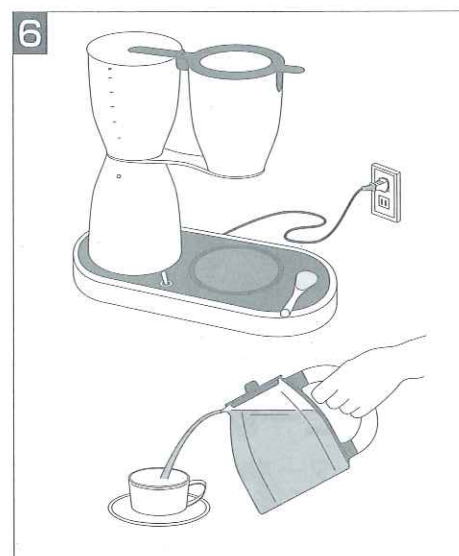
6 抽出終了後、ガラスジャグを降ろす

水タンクの水が無くなり、ドリップストップ弁からガラスジャグへのコーヒーの流れ込みが止まったら、コーヒーの抽出終了です。抽出が終了したら、ガラスポットを保温プレートから降ろしてカップにコーヒーを注ぎます。

保温プレートでコーヒーは抽出後も適温を保ちますが、コーヒー本来の「旨み」・「香り」と「風味」は時間の経過と共に失われていきますので、なるべく早めにお召し上がりください。

※電源を入れてから約2時間後に、自動的に電源が切れ、スイッチランプが消灯します。スイッチはONの位置にあるので、OFFの位置に戻してください。

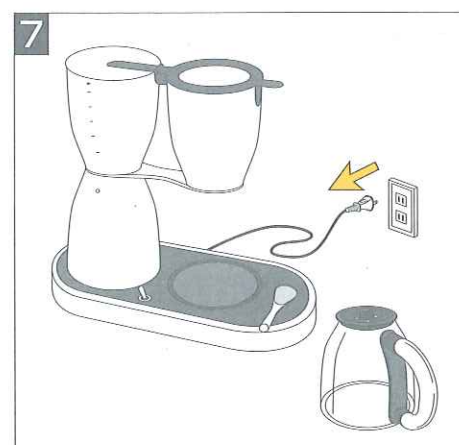
※続けてコーヒーの抽出を行なう場合は、手動で電源を切り、3分以上の休みを入れてください。



7 使用後は、必ずプラグをコンセントから抜く

⚠ 高温注意

使用後すぐは各部が熱くなっていますので、ヤケドに注意してください。

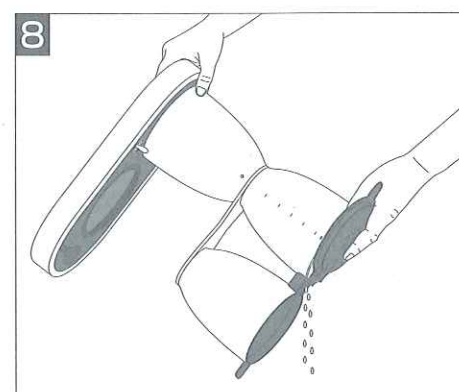


8 ボイラー内の水を捨てる

コーヒーの抽出後、ボイラー内に約100mLの水が残ります。1日のご使用が終わりましたら、本体を逆さまにしてボイラー内の水を必ず捨ててください。

水を残したままにしておくと異臭の原因になります。(9ページ参照)

⚠ 注意: 本体を逆さまにする際は、必ずプラグをコンセントから抜き、コーヒー粉の入ったゴールドフィルターを取りはずし、ガラスジャグを保温プレートから下ろしてください。



お手入れについて

使用後は、下記の要領でお手入れをしてください。

お手入れをするときの注意点

- ・ 事前に必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 本体や各部が冷えてからお手入れしてください。
- ・ 水タンクに残った水は必ず捨ててください。

水洗いできません

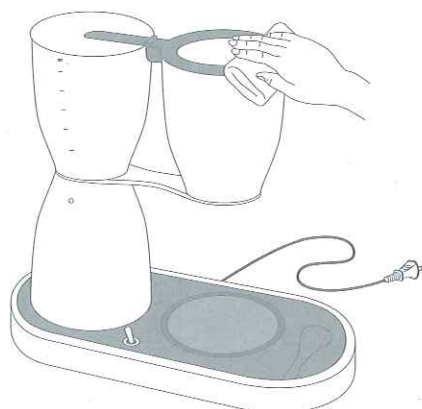
本体、電源コード/プラグ

汚れたとき

- ・ 表面の汚れは、固く絞った濡れ布巾で拭き取ります。その後乾いた布で拭き取ってください。
- ・ 落ちにくい汚れは、少量の台所食器用洗剤を含ませた布で拭き、次に固く絞った濡れ布巾で洗剤を良く拭き取ったあと、乾いた布で拭きます。

⚠ 注意

- ・ プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 水に浸けたり、水洗いしないでください。



※計量スプーン受けについて

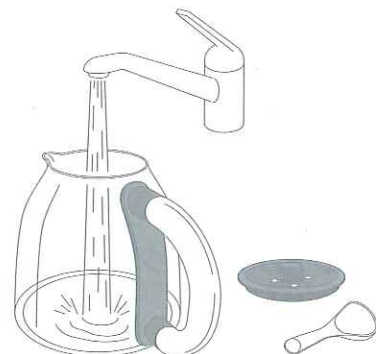
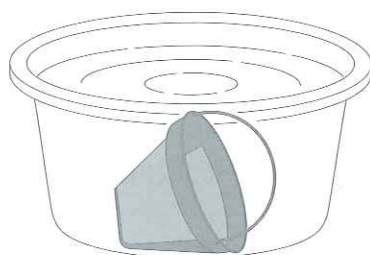
本体に刻まれている計量スプーン受けは、水洗いできないため、抽出時にコーヒー粉を入れ終えた後、計量スプーンは水洗いしてからスプーン受けに収納することをお勧めします。

水洗いできます

フィルターホルダー、ゴールドフィルター、ガラスポットとふた、計量スプーン

汚れたとき

- ・ ドリップストップ弁を押し上げて水洗いしてください。
- ・ ゴールドフィルターがコーヒーの脂分で目詰まりした場合は、少量の台所食器用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、お手入れをしてください。
- ・ 使用後は毎回、台所食器用洗剤と柔らかいスポンジで水洗いします。



⚠ 注意: クレンザーや金たわし、ベンジンやシンナー等は、使用しないでください。

カルキ取りについて

長くお使いになると、内部の給湯管などに水中の石灰分（カルキ）が付着し、お湯の出が悪くなったり、コーヒーの香りや風味を損ねる場合があります。

本製品はご使用90回ごとにカルキ取りランプが点灯し、カルキ取りが必要な時期をお知らせします。※ただし、カルキ取りが必要な時期は、ご使用になる水によって異なりますので、下の表を目安としてください。また、ご使用の水道水の硬度については、各自治体の水道局にお問い合わせください。

<水硬度とカルキ取り目安の表>WHO（世界保健機関）による軟水・硬水の目安より

区 分	軟 水	中程度の軟水	硬 水	非常な硬水
硬 度	0～60mg/L	60～120mg/L	120～180mg/L	180mg/L以上
カルキ取り目安	270回ごと	180回ごと	90回ごと	90回ごと

※本機能は、お客様が硬水（石灰分を多く含む水）をご使用になることを想定し、主にヨーロッパ向けに備えられたものです。日本では、一部の地域を除き、ほとんどの地域で軟水（石灰分が少ない水）が使用されています。そのため、この機能をご使用にならなくても大きな障害は起こりません。

カルキ取りの手順

①ホルダー受けにフィルターホルダーを取り付け、ふたをしたガラスジャグを保温プレートに乗せます。

②水タンクが目盛り6まで水を入れ、そこに大さじ1杯分の酢を加えてふたをします。

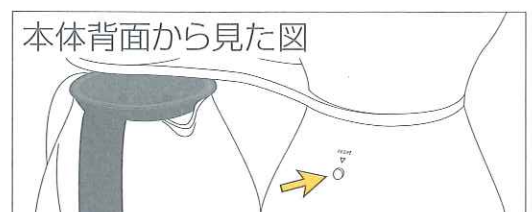
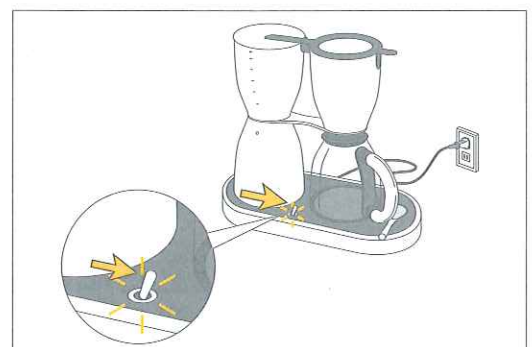
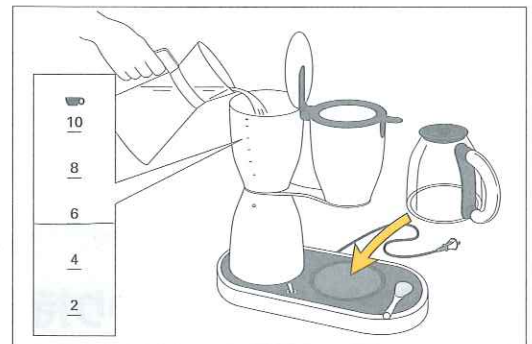
③そのまま5分ほど待ってから、プラグを壁面のコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。電源が入ると電源ランプが点灯、しばらくすると沸騰音と共に給湯（内部洗浄）が始まります。

④水タンクの水が無くなり、沸騰音がやむと、給湯の終了です。

⑤電源を切り、3分ほどの「休み」をとります。ガラスジャグを空にしてすすぎ、再び保温プレートに乗せます。

⑥水タンクに水だけを目盛り8まで入れ、再び給湯を行ないます。さらに給湯を2～3回繰り返し、酢の臭いが消えたら終了です。

⑦カルキ取りお知らせランプリセットボタン（本体背面）を押して、警告ランプをリセットします。



故障かなと思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、ご使用を中止して以下の点をお調べください。それでも正常に機能しないときは、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。

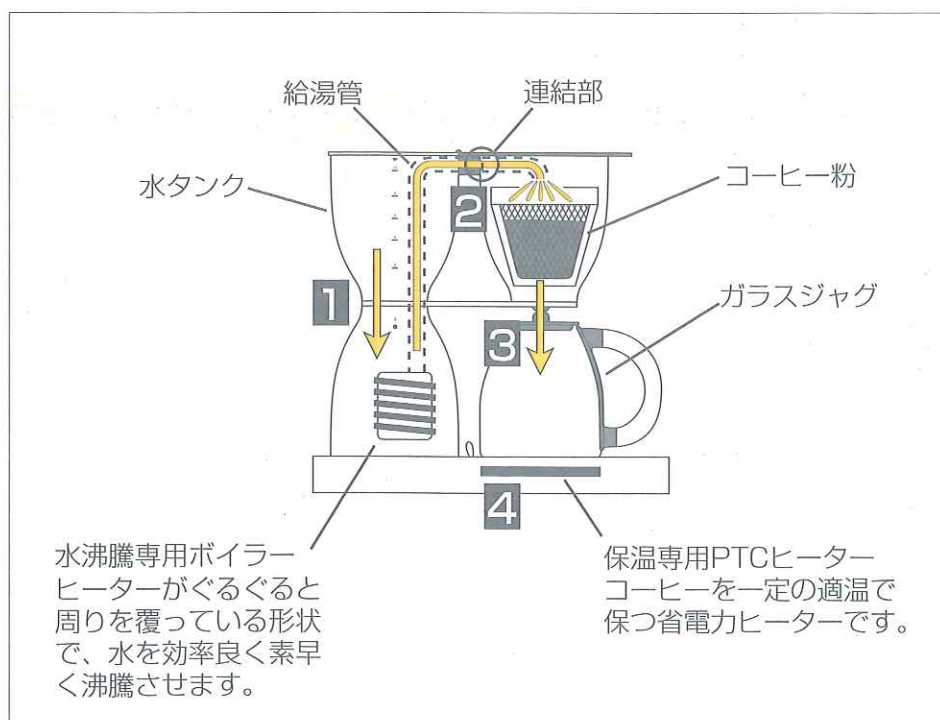
状 態	予想される原因	対処のしかた
コーヒーが抽出されない/ ガラスジャグに落ちてこない	・ プラグがコンセントに入っていない	・ プラグをコンセントに差し込む
	・ 電源が入っていない	・ 電源スイッチを押して電源を入れる →スイッチランプが青色に点灯する
	・ 水タンクに水が入っていない	・ 水タンクに適量の水を入れる
	・ フィルターホルダーの取付けが不完全	・ ホルダー受けにカチッというまで、しっかりと取り付ける
	・ ドリップストップ弁にコーヒー粉が詰まっている	・ ドリップストップ弁を押し上げて水洗いする（8ページ参照）
	・ ゴールドフィルターの取付が不完全	・ フィルターホルダーに正しい向きでセットする（4ページ参照）
	・ コーヒー粉が入っていない	・ ゴールドフィルターに適量のコーヒー粉を入れる
	・ 本体のふたが開いている	・ ふたをしっかりと閉める
	・ ふたをしたガラスジャグが保温プレートに乗っていない/保温プレート中央からズレている	・ フタをしたガラスジャグを保温プレートの中央に乗せる
コーヒーの出（落ち）が悪い	・ ガラスジャグのふたが完全に閉まっていない（取付けが不完全）	・ ふたを正しく取り付ける
	・ ゴールドフィルターの目詰まり	・ 少量の台所食器用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、お手入れをする（8ページ参照）
	・ ドリップストップ弁にコーヒー粉が詰まっている	・ ドリップストップ弁を押し上げて、水洗いする（8ページ参照）
コーヒーに多量の粉が混じる	・ 給湯管に石灰分が付着している	・ 石灰分の除去をする（10ページ参照）
コーヒーがガラスジャグから溢れる	・ コーヒー粉（挽き具合）が細か過ぎる	・ やや粗めに挽いた粉を使う
	・ 水タンクの水量が最大量を超えている	・ 最大水量（目盛10）を超えないようにする
コーヒーがフィルター受けから溢れる	・ フィルターホルダーの取付けが不完全	・ ホルダー受けにカチッというまで、しっかりと取り付ける
	・ ドリップストップ弁にコーヒー粉が詰まっている	・ ドリップストップ弁を押し上げて、水洗いする（8ページ参照）
	・ ゴールドフィルターの取付が不完全	・ フィルターホルダーに正しい向きでセットする（4ページ参照）
	・ コーヒー粉の入れ過ぎ	・ コーヒー粉の最大量（計量スプーンすりきり12杯）以上入れないこと
	・ ふたをしたガラスジャグが保温プレートに乗っていない/保温プレート中央からズレている	・ フタをしたガラスジャグを保温プレートの中央にのせる

仕 様

製品名称／型式番号		デロンギドリッップコーヒーメーカー／CM900J
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	1,200W 抽出後の保温時 47W
外形寸法／質量		幅390×奥行190×高さ365mm／3.0kg
電源コードの長さ		2.1m
水タンク容量		水タンク(目盛10の線まで):約1,350mL+ボイラー内:約100mL ※ボイラー内の水量は、抽出可能な水量には関係しません。
ジャグ容量		最大抽出量:約1,250mL(コーヒー約10杯分)
材 質	本体外部:アルミニウム、水タンク:SAN	
	ガラスジャグ:耐熱ガラス、ガラスジャグふた:PP フィルターホルダー:PP、計量スプーン:アルミニウム	
付 属 品		ゴールドフィルター(装着済)、計量スプーン

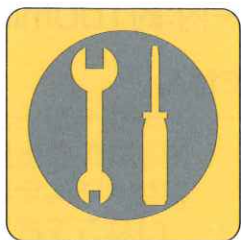
CM900Jの構造

- 1 水タンクの水が本体内部のボイラーに入って温められます。
- 2 熱湯が給湯管を上がって、連結部を通り、コーヒー粉に注がれます。
- 3 ガラスジャグにコーヒーが抽出されます。
- 4 ボイラー電源が自動的に切れ保温プレートがコーヒーを80℃に維持します。
(最長、約2時間で電源を自動的に切ります。)



アフターサービスについて

- 1)使用中に製品機能上問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。
- 2)万一、故障/損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。
- 3)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日: 年 月 日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください

デロンギ・ジャパン サービスセンター ▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

- 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル
修理のお申し込みは…………… Tel. 0120-804-280 / Fax. 045-450-3291
お問い合わせ、ご相談は… Tel. 0120-064-300

- 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25
修理のお申し込みは…………… Tel. 0120-692-885 / Fax. 06-6368-2881
お問い合わせ、ご相談は… Tel. 0120-692-880

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>

DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社

本 社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321 (代)